

設計例 LPS-16
突針棟上併用方式(建物・アンテナ保護)

外部雷保護システム

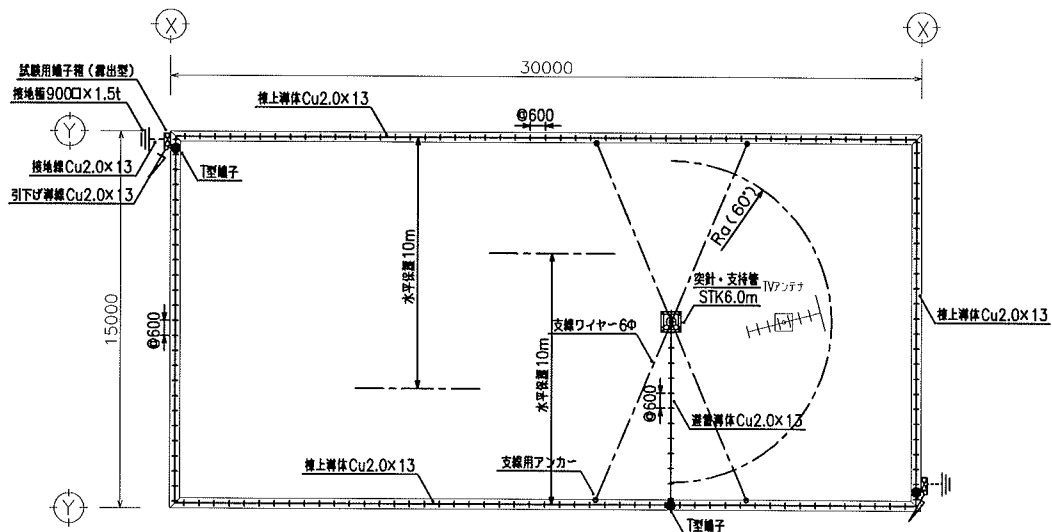
1.受雷部	棟上導体(水平保護)
2.引下げ導線	突針(保護角法)
3.接地	単独接地

対象規模

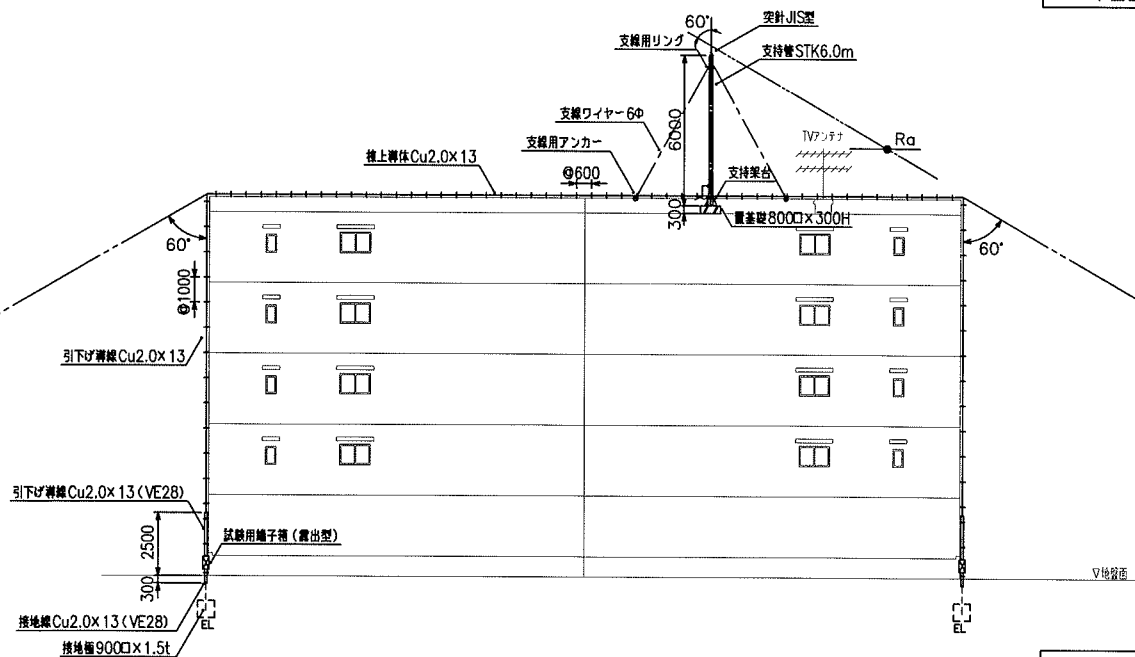
1.建物種別	一般住宅
2.建物概要	鉄筋コンクリート造(RC造) 地上5階 地下階なし
3.外周長	100m以下
4.突出物	アンテナ

特記事項


1. 本設備は JIS A 4201:1992(建築物等の避雷設備)に準拠して行なう
2. 避雷設備から1.5m以内に近接する金属体は、特記なきものも含み14sq以上の銅線にて接続する
3. 避雷設備の単独接地抵抗は50Ω以下、避雷設備の総合接地抵抗は10Ω以下とする
又、構造体を引下げ導体として利用する場合は、避雷設備の接地極と基礎の合成抵抗は5Ω以下とする
4. 引下げ導線が地上から接地へ入る部分の地上2.5m、地下0.3mは機械的保護のため保護管(VE28)にて避雷導線を保護すること



平面図



側面図

 エースライオン株式会社		避雷設備の設計例	
06.09.17	A1: 1/100	JISA4201:1992	突針棟上併用方式
08.08.12	A3: 1/200		
	A4: 1/300		
作成日	縮尺	適用規格	図面名称
			LPS-16
			図面番号